

平成28年度 学校法人三幸学園 福岡ウェディング&ブライダル専門学校

自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 高岡 利和

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 藤田 憲子

1. 学校の教育目標

三幸学園は、昭和60年の開校以来約30年にわたり、『技能と心の調和』を教育理念に掲げ、教育を展開してきた。ここでは、社会への有益な職業人を数多く輩出することを目標に、“有益な職業人とは、専門的知識・専門的技術を十分持ちながら、常に変遷する社会に対し柔軟に対応するため日々研究・研鑽を続け、職業人としての使命感をしっかりと確立した人物”と定義し、心豊かな人間性を育む教育に注力している。

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、ウェディング分野の学校として「最幸の結婚式を通じて、日本を世界の家族を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、ウェディング分野として「最幸の結婚式を創り上げることを通じて、新郎・新婦だけでなく、その家族、その人生も幸せにできるNo.1のプランナー・コーディネーター」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 重点施策の振り返り

平成28年度では、次の4点を重点的に取り組んだ。

1. 退学率の低減
2. 主体性を育む教育
3. 検定合格率の向上
4. 掃除、挨拶の徹底

結果として継続して指導できるよう教員間で共有徹底おこなった。生徒の主体性を育む教育を目指したがまだ自分からの発信ができるまでは至っていない。引き続き強化していきたい。また、退学率の低減目標は大幅に改善することが出来た。

② 学校関係者評価委員会コメント

生徒の挨拶がとてもよく礼儀正しい。学校の明るい雰囲気は退学率の低減につながったのではないかと。今後は、自ら提案できるようにしていただきたい。

評価項目の達成及び取組状況

(1). 教育理念・目標

【評価項目】 (評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

①課題

・教育理念「技能と心の調和」は三幸学園の教育の原点である。内外に浸透していくことで学校の教育特徴を創りあげていく必要がある。ただし、生徒の変化、時代のニーズによって変えなければならない。

②今後の改善策

- ・業界のニーズをより把握し、学校教育に反映
- ・視覚から学校理解するため、校内に「人材育成」のポスター掲示し浸透を図る

③特記事項

教育理念から人材育成をより体系化するべく、三幸学園のミッションを「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」を掲げている。

より即戦力となる人材を育成し、業界のニーズをより深く理解することを目的に、ウェディングプロジェクト・企業インターンシップというカリキュラムを中心に学外での活動に積極的に参加している。

④学校関係者評価委員会コメント

特になし

(2). 学校運営

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

①課題

- ・教育取り組みや活動については、より積極的に公開
- ・情報システム化等による業務効率化

②今後の改善方法

- ・WEBを活用した情報伝達システムの導入、教務掲示板による伝達の効率化

③特記事項

- ・年3回、定期的に全教職員・講師に向けて運営方針の浸透と共に、情報共有のための会議を実施
- ・グループウェア内で情報を生徒、卒業生、就業規則、雇用、財務等を共有公開

④学校関係者評価委員会コメント

特になし

(3). 教育活動

【評価項目】 (評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

①課題

・クラス運営や教育技術などの取り組みは各個人に任されている部分が多く、学校全体としての取り組みが個人能力で差がある。

・企業との連携はあるが授業の取り組みとしてはまだ不足である。

②今後の改善方法

・クラス運営を向上させるため担任指導者を設置

・教科会などを通し、個人差が出ないよう技術レベルの向上を図る

・実践力・専門的教育を協議検討行うため、カリキュラム委員会で修正・改善を行う。

③ 特記事項

・三幸学園独自のアクティブラーニングを導入、能動的学習を行なっている。

・OJT 指導者の配置や教務研修などを行い人材育成に取り組んでいる。

④学校関係者評価委員会コメント

知識は就職してから役立つので身に付けてほしい。

会話ができない、人とコミュニケーションが取れない社員が増えているように感じている。インターンの取り組みは就職した時に人馴れすることができるため役立つ。

(4). 学修成果

【評価項目】 (評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	3
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

①課題

卒業生情報の強化が課題である。また、業界を意識した取り組みを行い、より高い卒業・進級率を目指す。

②今後の改善方策

- ・同窓会 Link をより多くの卒業生に閲覧してもらい、卒業生ネットワークを強化
- ・資格試験の資格取得率の更なる向上にむけ、全国の姉妹校間で検定対策の情報共有や模擬試験の共有を行う。
- ・就職ガイダンスを実施し、姉妹校先輩からの体験談・企業の方の講話を聞くことができる機会を設けている。
- ・退学率低減のために、新任担任クラスに副担任制度を設け、サポート体制を確保している。

③特記事項

- ・就職後も企業訪問を積極的に行い、卒業後の把握を行なっている。
- ・検定前に強化 WEEK の設定を行い、合格保証制度も設けている。
- ・卒業生あての求人を HP で公開
- ・担任指導者の設置

④学校関係者評価委員会コメント

- ・専門で学んでいる為、意識が高く就職した後、勉強した事が発揮できる傾向である。ただし、就職面接では、まだまだ表現力や言語の選択が弱く、大学生との差を感じている。もっと表現する力を持つことで働きたい企業への就職に近づけると感じる。

(5). 学生支援

【評価項目】 (評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

①課題

- ・入学前の保護者会実施などコミュニケーションを図るも連携体制の確保とまではなっていない。
- ・社会人のニーズが年々高まる中、再進学や学び直しに対応すべく受け入れ体制の整備を推進。
- ・卒業生支援制度の周知拡大が必要・

②今後の改善方策

- ・学内で相談できるよう上級生のオリターを活躍できるよう取り組む。
- ・4～5月にかけて担任から保護者へ担任挨拶の連絡を行う。
- ・在籍中に同窓会 Link についての周知・活用の強化を行う。

③特記事項

- ・スクールカウンセラーの設置
- ・地方生徒への支援
- ・卒業生 Link の活用

④学校関係者評価委員会コメント

- ・在籍中に行った企業インターンが就職後に役立っている。サービスが出来たからこそ自信を持ってお客様の前で接客することが出来ている。

(6). 教育環境

【評価項目】 (評価=適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
防災に対する体制は整備されているか	4

①課題

特に大きな課題はない。

②今後の改善方策

インターネット環境の充実

③特記事項

- ・校舎及び設備については、保守管理企業様と円滑な連携のうえで、安心・安全な教育環境の維持向上に努めている。
- ・防災指導を一過性で終わらせるのではなく、全教室へ避難経路を掲示している。
- ・ハワイへの海外研修制度を設け、海外でのブライダル知識・技術を学べる機会を提供している。

《主な教育設備》

- ・チャペル
- ・バンケットルーム
- ・ドレス実習室・メイク実習室
- ・パソコン実習室

④学校関係者評価委員会コメント

- ・特になし

(7). 学生の受入れ募集

【評価項目】 (評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

①課題

- ・特に大きな問題はないが、競合校の新設に伴い、今後は難航が予想される。

他校との差別化を図るためにもより企業との連携が必要である。

②今後の改善方策

- ・企業や卒業生からの情報など広く情報を収集し、理解を深めていく。また、本校を理解いただき、お互いに連携していく。

③特記事項

- ・学納金の決定に際しては、他校の学費水準も把握した上で決定
- ・地域で設置されている広報室と連携しながら、退学折衝・高校への説明会・オープンキャンパス等の機会を通じて正確に伝えられるように計画的に活動を展開している。

④学校関係者評価委員会コメント

- ・取り組んでいるイベントや本物の挙式などの魅力ある授業をもっとアピールしていく。

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

中長期事業計画は2012年に策定したが、当該計画は前倒しで終了しているため、今年度に更なる中長期計画を策定する必要がある。

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

ホームページ上の公開については抜粋版が公開となっているが、今後は事業報告などの詳細な情報の公開が必要。

② 今後の改善方法

【中期計画】

今年度到新中期計画を策定する予定である。

【財務情報の公開】

今年度よりホームページ上の法人の事業報告書を公開する予定である。なお、当該報告書には財務情報にかかる詳細データを掲載する事となっている。

③ 特記事項

なし

【委員コメント】

・特になし

(9). 法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

①課題

特になし

②今後の改善方策

・更なる法令遵守の推進。また、会議や掲示物等を通じて、全ての職員の法令遵守に対する啓蒙を継続的に図る

③特記事項

・自己評価結果より公開

④学校関係者評価委員会コメント

特になし

(10). 社会貢献・地域貢献

【評価項目】 (評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1)	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3

①課題

特になし

②今後の改善方策

更なる生徒の学びの機会と地域貢献の連動を目指す。ボランティア活動を実施している。

③特記事項

<事例紹介(28年度実績)>

・成人式ヘアメイク

実習、就職先の企業様との提携により、成人式にあわせてヘアメイクを実施。実践力を養い、現場の空気感を肌で感じられる機会となっている。

・LGBT ボランティア

・地域清掃ボランティア活動の実施

④学校関係者評価委員会コメント

特になし

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・採用した卒業生を見ても福岡ウェディング&ブライダルの生徒は挨拶や素直さがとても良い。在校生も同じように感じる。
- ・企業内でも人材育成の方向が変化してきている。ディスカッションをとり、並走しながら企業の考え方を伝えていっている。

近年の採用者はコミュニケーションが苦手な方が多いと感じている。学校教育の中でも人の為に物事が考えられる人、コミュニケーションが取れる人を育成していただきたい。また、メンタル面も鍛えていって欲しい。

以上を受けて、職業意識の醸成を目的に、日々の授業・校外実習・行事の運営を目標としていく。

以上